

川北まさる

川西市議会議員

声をカタチに、 想いつなげる。Vol.16

4年間、市民の暮らしに向き合ってきました

川西市議会議員として1期4年。

市議会の一般質問では、市民の皆さんからいただいた声や、暮らしの中で感じる課題を市政に届け、改善を求めてきました。

4年間の一般質問を振り返ると、私が大切にしてきたのは、

「命を守る」「子ども・子育てを支える」「暮らしやすいまちをつくる」「誰も取り残さない市役所にする」という視点です。

質問するテーマは違っても、根底にある想いは共通しています。

市民の声を聴き、暮らしの課題を議会で問い、改善につなげる。

これからも、目の前の課題だけでなく、

10年後、20年後の川西市を見据えながら、市民の皆さんとともに、その声をカタチにしていきたいと思います。

川北 将



4年間の一般質問

命を守る

災害への備えや消防・救急、交通安全など、市民の命を守る取り組みを繰り返し議会で取り上げてきました。

● 大規模災害に備えた「自助」と「公助」

避難所となる学校の受水槽を活用し、災害時の応急給水拠点を増やす必要性を訴えました。

● 映像通報システムによる救命率向上

救急到着までの数分を救命に。市民の命を守る消防DXとしてLive119の導入を提案しました。

- 能登半島地震を踏まえた災害への備え
- 災害時のトイレ対策・マンホールトイレ
- 豪雨・台風に伴った危険木の事前伐採
- 防災訓練や橋梁点検でのドローン活用

- ヒヤリハットを生かした交通安全対策
- 通学路の危険箇所・交通事故防止
- 事故の多い交差点や通学路の安全対策
- ペット同室避難・車中泊避難への支援

「もしも」の時だけでなく、日頃から命を守れるまちへ。



4年間、26のテーマを議会へ。

子ども・子育てを支える

子育ての経済的な負担から、遊び場、学校生活、放課後まで、子どもの成長に合わせた課題を取り上げてきました。

● 乳幼児医療費・こども医療費の所得制限撤廃

頑張って働き、給料が上がると所得制限にかかってしまう。
共働き世帯の声を議会ですえしました。

● 地域子育て支援拠点「プレイルーム」の充実

● 子どものむし歯予防・歯の健康づくり

● 中学校の自転車通学拡充

● 育成クラブの待機児童対策と放課後事業の一体化



子どもたちの成長と、子育て世帯の毎日の負担を支えるまちへ。

暮らしやすいまちをつくる

中心市街地や北部のまちづくり、公園、公共交通、空き家など、暮らしに身近な課題にも取り組んできました。

● 中心市街地の活性化とペDESTリアンデッキの整備

ペDESTリアンデッキの人工芝整備など、子どもや若者の声を聞き、過ごしやすい空間を提案しました。

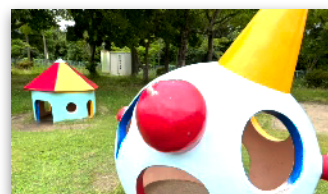
● 川西市北部のこれからのまちづくり

● もっと自由に楽しめる特色ある公園づくり

● 歩道にはみ出した竹木など身近な生活環境の改善

● 地域公共交通と移動手段の確保

● 空き家の活用、リフォーム・解体への支援



地域ごとの課題に向き合い、便利で快適に暮らせるまちへ。

誰も取り残さない市役所へ

情報発信、制度の狭間で困っている人への支援、福祉、DXなど、仕組みそのものをより良くする提案をしてきました。

● 広報誌の多言語対応

外国にルーツを持つ家庭にも情報が届くよう「広報かわにし みらいふ」の多言語化を提案しました。

● 喉頭摘出者が使用する「人工鼻」への助成

喉頭摘出者の方々が自分らしく輝き、人生を送れるよう、必要な支援を訴えました。

● 市の重要な会議をライブ配信し、市政をもっと身近に

● 複雑な悩みを一体的に支える重層的支援体制整備

● 行政DXの推進と市民・職員のデジタルスキル向上

必要な人に支援が届き、市民に開かれた市役所へ。



今後の取り組みは

こちら→



市議会 一般質問



市政報告
(黒川里山センター)



対話による活動



道路補修相談対応
(多田大橋)



カーブミラー除草相談
(一庫)



右折レーン設置相談対応
(畦野跨線橋)

対応してくださった市職員の皆様、関係者の皆様に、深く感謝いたします。

川北まさる プロフィール

- 1982年（昭和57年）2月19日生まれ
- 民間企業、労働組合の経験を経て、川西市議会議員 1 期目
- 趣味は愛犬とキャンプ、好きな言葉は一期一会
- 特級工場板金技能士、防災士、ペット災害危機管理士

Tel : 090-8536-7104

Mail : masaru.kawakita0219@gmail.com

最新の情報状況はSNSで／

